

カリキュラム

機構施設名： 沖縄職業能力開発促進センター
実施機関名： 合同会社ヤオヨロズテック

A.バックオフィス		生成AIの活用
	新技術活用	

コースのねらい	生成AI (Generative AI) の概要とビジネスの現場における生成AIの具体的な活用場面等について理解し、自社業務において、生成AIを明日から活用するための知識の習得を行う。
---------	--

「基本項目」		「主な内容」	訓練時間 (H)
講義内容	1 生成AIの概要	(1)DX時代における生成AIの役割 ・第4次産業革命とDXにむけた時代の変化を解説し、DXに至る背景の理解を目指します、企業運営で避けては通れないDX(デジタル・トランスフォーメーション)と社会実装が実現した生成AIについて説明しデジタルを活用した業務改善の必要性和AIが果たす役割について考察します。 (2)大規模言語モデル(LLM)と生成AIの概要 ・ChatGPTに代表される生成AIのしくみと出来ることを解説・実演し、業務における活用イメージを具体化して頂きます。 ・大規模言語モデルの登場により民主化されたAIの動向についてと自然言語によるプロンプトエンジニアリングについてデモを交えて説明します。 【デモ①】 ・生成AIツールを用いた文書翻訳・文書生成 ・画像生成/動画生成 ・音声認識と自動文字起こし ・プレゼンテーション生成 ・検索拡張生成(RAG)を使った業務効率化 ・生成AIを活用したプログラム生成 (3)生成AI時代における守るべき倫理・安全性・透明性・責任性について ・生成AIは非常に協力的な業務支援ツールとなりえますが、利用において守るべき倫理と機密情報の生成AIの学習等のリスクについて説明します。また、生成されるコンテンツにいての現状の所有権の所在や生成されるコンテンツの利用責任についても網羅し、生成AIを業務で利用するために、必要な情報セキュリティや、生成されたコンテンツの著作権について考察します。	0.5
			1.0
			0.5
	2 生成AIの活用事例と今後の展望	(1)生成AIの具体的な活用と業務への適応方法の説明【演習】 ・生成AIを活用した業務の事例の紹介と既に実用化されているAIサービスについて説明します。 ・参加企業の業務内容の可視化業務のどの箇所でのAI活用が可能かを全員で考えるワークショップを実施します。 【ワークショップ①】生成AI活用計画立案の演習 ・講師にて準備したケーススタディを用いて仮想の企業の業務上の課題の解決案をプロンプトエンジニアリング手法を用いて実施します。問題解決策を生成AIを活用して導き出すことで利用イメージを掴んで頂きます。 【デモ②】 ・生成AIを活用した補助金申請書類作成デモ 【ワークショップ②】自社業務における生成AI活用演習 ・自社業務におけるムダ・ムリを生成AIを活用して洗い出し、具体化された課題へのアプローチとして実際に受講者自身が生成AIツールをを利用し課題解決方法を探索します。受講者は課題に対してのアプローチ方法について生成AIに相談するためのプロンプトを作成してもらいます。得られた結果を生成AIツールを用いて社内報告書に近いフォーマットにまとめてもらいます。 (2)生成AI導入の課題 ・AIを活用するにあたってのDX人材育成についての説明 ・社内業務効率化に向けてのAI活用と、顧客への新たな価値を創出していくための生成AI活用について考察します。 (3)DXのその次とAIの今後の展望 ・AI関連技術のロードマップ(シンギュラリティとAGIについて) ・自然言語でのHumanoid連動の事例 ・AIに置き換わる可能性のある職業についてグループワークを通じて考察を行う	2.0
			0.5
		0.5	
		合計時間	6.0